

# 平成 28 年度事業計画書

公益財団法人 兵庫県国際交流協会

## 平成28年度事業計画

### Ⅲ 平成28年度基本方針

平成2年に設立し、同22年から公益財団法人に移行した当協会は、時代の情勢に応じながら、世界の人々と共に生きる国際性豊かな社会の創造を目指し、①「多文化共生社会の実現」②「交流人口の拡大」③「人づくりへの貢献」の3つの基軸により、各種事業を展開してきた。

当協会は、県内の国際交流団体が直面している課題に対応するために、県域を所管する広域的な団体としての様々な活動を進めるとともに、それぞれの団体の持つ力や強みを活用し合い、助け合うしくみづくりに努めてきた。25年度に設立した「ひょうご国際交流団体連絡協議会」を活用し、今後も県内市町団体間の情報共有や相互連携を促進していくほか、自治体との連携も一層強化して、県内各地の国際交流の充実に努めていく必要性を認識している。

そこで、平成28年度に特に取り組むべき事業として、①「多文化共生社会の実現」においては、ひょうご国際交流団体連絡協議会活動の積極的な推進や、平成24年度から取り組んできたセーフティネットとしての地域日本語教室開設支援をさらに推し進め、未設置市町の解消を達成するとともに、新規に立ち上がった教室の運営支援を行う。また、地域日本語教室を支えるボランティアの人材育成を意図した養成研修を新たに開始し、日本語教室網の充実、発展を図る。さらに、外国人県民相談の運営や多文化共生を考える研修会、県内外国人団体等が協働実施するイベント「つどい」を開催することなどにより、異文化理解の促進や多文化共生社会構築への意識づくりを進めていく。

また、②「交流人口の拡大」においては、西オーストラリア州との友好提携等を記念した県民交流団を派遣するとともに、海外の交流拠点である海外事務所において、兵庫の魅力・観光PRを促進し、あわせて県内企業の進出支援及び進出後のフォローを行う等、経済活動支援機能を強化するほか、各種交流事業を通じた草の根レベルの国際交流を推進する。

併せて、③「人づくりへの貢献」では外国人留学生の支援において東南アジア新興国をはじめ幅広い国・地域からの留学生の受入を進めるほか、海外研修員の受入などの多様な事業に積極的に取り組んでいく。

各事業の実施にあたっては、県の行財政構造改革の推進も視野に入れ、協会の有するソフト・ハードの経営資源を活用し、市町・民間国際交流団体、NGO/NPOや地域の国際機関等と緊密な連携の下、効率的に執行していく。

### Ⅳ 事業内容

#### 1 多文化共生社会の実現

今年度の目標) 外国人児童生徒の学習や地域社会への参画等にかかる課題を解決するとともに、外国人県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを進める。

##### (1) 外国人児童生徒への学習支援

##### ① 外国人児童生徒の居場所づくり

(予算額8,621千円)

##### ア 日本語・教科学習教室

外国人児童生徒の日本語・教科学習を支援するため、県内各地において、ボランティア団体等との共催で日本語・教科学習教室を実施する。

なお、これらの教室は、外国人児童生徒等が定期的集まる場所として定着していることから、併せて日本の生活習慣や学校文化等を学ぶ機会を提供し、外国人児童生徒の日本語・教科学習能力や生活能力を育み、同じ立場の仲間が支え合える拠点づくりを目指す。

・講座数：25講座 [27年度 日本語教室・教科学習教室：29講座]

・進学に向けた教科学習集中支援教室：6講座 [27年度：4講座]

## イ 母語・教科学習教室

外国人児童生徒にとって、アイデンティティの保持や家族とのコミュニケーションを図るための母語の学習や、日本語による理解が難しい場合の母語による教科学習支援が大切となっている。

外国人児童生徒の状況に応じた言語習得・教科学習の支援を行うため、ボランティア団体等との共催で母語・教科学習教室を実施する。

- ・講座数：15講座 [27年度 母語教室・教科学習教室：15講座]

## ウ 児童生徒支援

ボランティア団体等が実施する日本語教室、母語教室、教科学習教室は、外国人児童生徒等にとって定期的に集まる身近な場所として定着していることから、これらの教室等を核として、地域ニーズに合った事業を追加実施し、安心して地域社会で成長するための支援拠点づくりを目指す。

(ア)先輩に聞こう！

- ・内容：外国人児童生徒が同様の経験をした先輩の高校生や大学生による体験談を聞き、将来の目標や進路を考える機会とする。

- ・箇所数：5箇所 [27年度：4箇所]

(イ) ところや進路のカウンセリング

- ・内容：心理カウンセラーや教員経験者等による心や進路の悩みに対するカウンセリング

- ・箇所数：10箇所 [27年度：5箇所]

(ロ)活動支援

- ・内容：大学生等ボランティアの支援のもと、様々な活動を外国人児童生徒の企画、準備により実施する。

- ・箇所数：10箇所 [27年度：9箇所]

## ② 外国人児童生徒への日本語・学習支援研修会の開催 (予算額 300 千円)

学習に困難を抱えている外国人児童生徒に、効果的な日本語・教科学習支援を行うため、支援従事者の実践能力向上を目指した研修を実施する。

- ・対象者：学校関係者、日本語・教科学習支援従事者

- ・時期：1月

- ・回数：1回 [27年度：1月9日実施、延べ164名受講]  
(第I部：86名、第II部：78名)

## ③ 母語教育支援研修会の開催 (予算額 314 千円)

母語教育は、外国人児童生徒にとりアイデンティティの確立や精神的安定が得られるなど大きな効果があるとされていることから、母語教育への理解を深める研修会を開催する。

- ・対象者：母語教育関係者

- ・時期：7月頃

- ・回数：1回

[ 27年度：7月25日実施、47名受講  
11月17日実施、38名受講 ]

## (2) 日本語教育の推進

### ① 日本語教育指導員等の配置 (予算額 12,179 千円)

外国人県民が安心して暮らしていくためには、日本語の習得が不可欠であることから、日本語教育専門職員を配置し、日本語講座を主催するほか、地域日本語教室の人材育成を支援し、県内日本語教育の振興に努める。

② 外国人県民日本語講座の開催 (予算額 3,397 千円)

外国人県民の日本語能力向上のため、夜間に学べる日本語講座を開設・運営する。

- ・回数等：初級、初中級 年 32 回、延べ 64 時間
- ・期 間：第 1 期 5～7 月、第 2 期 10～12 月
- ・クラス：6 クラス (初級 4、初中級 2)
- ・定 員：年間 240 名 (各クラス 20 名×6 クラス×2 期)
- ・受講料：各期 2,000 円

[27 年度：延べ 412 名受講 (第 1 期 137 名、第 2 期 148 名、第 3 期 127 名)]

③ 「すぐに役立つ日本語講座」(夏期集中日本語講座)の開催 (予算額 1,069 千円)

日常生活で役立つ日本語を優先効率的に学習したいというニーズに対応して、生活場面と密着したコミュニケーション能力の習得に資する講座を開設する。

- ・時間数：20 日間、延べ 54 時間
- ・期 間：7 月～8 月
- ・クラス：2 クラス (レベル別)
- ・定 員：40 名 (各クラス 20 名)
- ・受講料：1 期 4,000 円

[27 年度：27 名受講]

④ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援 (予算額 6,750 千円)

外国人県民の日本語学習を支援するため、県内各地において、ボランティア団体等との共催で日本語教室を開設する。

なお、これらの日本語教室は、外国人県民が定期的集まる身近な場所であることから、併せて日本の生活習慣や文化慣習等を学ぶ機会も提供し、外国人県民が地域で安心して暮らせる拠点づくりを進める。

- ・対 象：県内で基礎的日本語学習を必要とする外国人に対する日本語教室等を開催するボランティア団体、グループ等
- ・内 容：日本語教室を共催し、運営に要する経費の一部を協会が負担
- ・講座数：45 講座

[27 年度：45 講座]

⑤ セーフティネットとしての地域日本語教室開設事業 (予算額 1,506 千円)

日本語教室の未設置市町・同国際交流協会等と連携し、教室がない市町の解消を目指すとともに、新規開設された教室の運営が安定化するよう支援し、構築した日本語教室網の維持、発展を目指す。

- ・対 象：当協会との協働により新たに日本語教室を設置した、または設置に取り組む市町 (相生市、佐用町、市川町、太子町、福崎町、多可町、香美町、新温泉町、神河町)
- ・協働内容：日本語学習支援ボランティアの養成やスキルアップのための研修実施、教室開設・運営に関する助言、運営負担金の交付

⑥ 日本語学習支援ボランティア育成事業 (予算額 698 千円)

県内各地で在住外国人のための日本語教室を運営し、研修を希望するボランティア団体等に対して日本語教師を派遣することにより、ボランティアの養成や研鑽、運営面の課題解決や活性化に役立てる。

- ・派遣時間数：60 時間 (12 団体程度)

**⑦ 日本語教育研修会の開催** (予算額 294 千円)

日本語教師や日本語学習ボランティア、学校関係者等を対象に、日本語教育に関する理解を深めるための研修会を開催

- ・時期：1月
- ・回数：1回

[27年度：3月5日実施(神戸市、72名参加)]

**⑧ 地域日本語教室リーダーの養成事業** (予算額 1,754 千円)【新規】

地域日本語教室は、日本語学習の場として、あるいは交流の場として重要な役割を担っており、日本語学習環境の整備や地域の国際化の推進に大きく寄与している。

この活動を活性化し、長期的に継続することを目的として、日本語教室のリーダーの養成研修を行う。

- ・事業内容：参加教室へのヒアリング、教室運営や指導法の検証・改善、モデル授業等
- ・実施箇所 1地域

**(3) 外国人県民への生活支援**

**① 外国人県民インフォメーションセンターの運営** (予算額 24,610 千円)

出入国、婚姻、医療、労働、教育など外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、4言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施する。

- ・人員：相談員5名(英語(1)、中国語(1)、スペイン語(2)、ポルトガル語(1))  
専門相談員1名(弁護士による法律相談・週1回)

[27年度：相談件数2,154件(H27.12月末現在)]

**② NGOと連携した外国人県民相談活動の実施** (予算額 2,640 千円)

夜間、休日等の相談に応じるため、NGO/NPOが行う相談活動等の費用の一部を支援する。

- ・対象団体：3団体  
27年度：NGO神戸外国人救援ネット、NPO法人篠山国際理解センター、ひめじ発世界  
相談件数：388件(3団体合計 H27.12月末現在)

**③ 多言語生活ガイドホームページの運営** (予算額 425 千円)

外国人県民が日本で生活する上での生活情報を掲載した多言語生活情報ガイドホームページを運営する。

- ・内容：10言語による生活情報の掲載

[27年度：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、タイ語]

**④ 外国人県民生活サポート活動の支援** (予算額 3,600 千円)

外国人コミュニティによる母語による相談や情報提供などの生活支援活動、子どもに対する母語教室の開催等を支援する。

- ・対象団体：3団体  
27年度：ベトナム夢KOBÉ、ひょうごラテンコミュニティ、NPO法人関西ブラジル人コミュニティCBK

⑤ 多文化共生を考える研修会の開催 (予算額1,292千円)

外国人県民と接する機会が多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化共生について理解を深めることができる研修会をNGOと協力しながら開催する。

- ・対象者：行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援NGO 等
- ・時 期：8月
- ・回 数：4回

[ 27年度：8月19日～28日（うち4日間）実施、  
延べ333名参加 ]

⑥ 多文化共生のつどい2016(仮)の開催 (予算額1,000千円)【新規】

阪神・淡路大震災20年の節目に兵庫県内の外国人コミュニティや外国人支援、行政や国際交流団体が協働実施した「つどい」の理念を継承する事業を実施する。

- ・事業主体：「つどい」実行委員会
- ・事業方法：補助
- ・事業内容：多文化共生意識の涵養につながる講演会、各国文化を発信するための祭典 等

⑦ 外国人学校交流の推進 (予算額2,696千円)

外国人学校に通う児童生徒が兵庫県内の自然とのふれあいや地域住民との交流を通し、地域、ひいては兵庫県への理解を深めることを目的に、外国人学校が実施する自然学校等の事業に対し助成する。

- ・対象者：外国人学校
- ・助成額：助成対象経費の1/3（上限：428千円/校）
- ・内 容：1泊2日以上 の県内自然交流施設等での体験学習

[27年度：11プログラム（予定）]

## 2 交流人口の拡大

今年度の目標) 草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進める。

### (1) 国際交流の推進

#### ① ひょうご国際プラザの管理・運営 (予算額 133,206 千円)

世界に開かれ世界の人々と共に生きる国際性豊かな地域づくりを推進する拠点として「ひょうご国際プラザ」を設置・運営する。また、施設の活用を通じ、国際分野で活躍する団体やボランティアグループ等との連携強化や、ネットワークの拡充を図る。

##### ア 国際情報センター (図書資料コーナー、日本語教育コーナー等)

国際交流に係る情報収集、書籍等の資料購入など情報基盤の整備を行い、図書資料コーナー等を活用した情報提供を行う。

27年度：(H27.12月末状況)	
蔵書数	23,034 冊
施設利用者数	21,175 人

##### イ 日本語教育推進室

県内の在住外国人への日本語教育の推進に向け、日本語教育の活動拠点及び日本語教育教材の収集・管理の場として、日本語教育推進室を管理・運営する。

##### ウ 国際交流サロン (交流ギャラリー、交流サロン)

協会自らが実施する外国人県民日本語講座や各種研修会、セミナー開催の活動用スペースとして活用する。

#### ② 海外事務所の運営 (予算額 156,707 千円)

海外における経済情報の収集等を行うため、兵庫県ワシントン州事務所、西オーストラリア州・兵庫文化交流センター、兵庫県パリ事務所、兵庫県ブラジル事務所及び兵庫県香港経済交流事務所を運営する。

##### ア 経済活動への支援

産業活性化センター等と連携し、県産品の展示会や試食・試飲会などを実施するとともに、現地事務所の存在を活かして、店舗等に直接売り込みを行うとともに、企業・団体等からの相談を受けるなど様々な切り口で県内企業の海外進出などを支援する。

##### イ 兵庫の魅力・観光PRの促進

海外企業や政府関係者・旅行業関係者などに対して、フェアやセミナー及び会議の開催や面談など、様々な機会を捉えて情報を提供することで、海外企業等の来県促進、本県PRを行う。

##### ウ 友好・文化交流の推進

文化事業の開催、日本語教室の開催など、草の根レベルの友好交流を実施するとともに、学校間交流やスポーツ関係者の交流を支援するなど、広範囲な友好・文化交流を支援する。

#### ③ 兵庫県民交流団の派遣 (予算額 3,034 千円)

兵庫県と西オーストラリア州との姉妹提携を締結して、35周年を迎えることから、これを記念し両地域の友好関係を促進するため、友好訪問団の派遣と現地政府との共同記念行事を開催する。

・参加者：20名程度

・時期：8月

④ 広東省学生訪問団の受入 (予算額 3,369 千円)

兵庫県と広東省の友好交流を一層促進させるため、広東省学生訪問団の受入を実施し、兵庫県と広東省の相互交流の一層の充実を図る。

- ・参加者：広東省大学生 約190名、省政府関係者 約10名
- ・内容：歓迎セレモニー（訪問団来県を記念して歓迎セレモニーを開催[場所：県公館予定]）、大学訪問交流、ホームステイの実施、「兵庫県・広東省交流の集い」の開催
- ・時期：10月

⑤ 広東省省民訪問団の受入 (予算額 1,715 千円)

兵庫県と広東省の友好交流を一層促進させるため、広東省省民訪問団の受入を実施し、兵庫県と広東省の相互交流の一層の充実を図る。

- ・参加者：広東省民 約100名
- ・内容：表敬訪問（場所：県公館予定）、ホームビジット、交流のつどい 等
- ・時期：10月

⑥ ひょうごホームステイ受入事業 (予算額 1,137 千円)

兵庫に滞在する外国人が日本家庭で過ごすことにより、日本人、外国人の双方が異文化体験や相互理解が深められるよう、安全・安心に受入が可能となるホームステイの受入・調整について、総合的なコーディネート等を行う。

- ・ホームステイの対象：関係団体、HIAの実施する各種青少年交流プログラム参加者  
県下大学等の留学生や県内ALT等で日本の生活を知らない者

⑦ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援 (予算額 5,744 千円)

ア 訪日教育旅行の受入促進

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫ファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の推進に向けた調整等に取り組む。

イ 学校交流支援事業の実施

訪日教育旅行にかかる学校交流に係る企画・調整や、学校現場と訪問団の円滑な交流の実現に向けた取り組みを行う。

27年度：(H27.12月末状況)	
台湾	20団体 751名
韓国	6団体 169名
その他	32団体 966名

⑧ 海外における兵庫県のPR促進事業 (予算額 8,625 千円)

5つの海外事務所において、文化教室の開催などにより日本文化とのふれあいの場を提供し、兵庫県の産業、文化、観光等を紹介する。

また、現地での日本語教育を支援することで、さらに兵庫県への理解を促進する。

⑨ “魅力Hyogo”発信事業（兵庫の観光資源発掘事業） (予算額 4,493 千円)

県内留学生等外国人県民を対象に、地域との国際交流により相互理解を深めるとともに、体験し

た“兵庫県の地方の魅力”をそれぞれの母国語によりHIAのBlog「The Best of Hyogo」への投稿などにより情報発信を行い、その情報をSNSを通じて拡散することにより国内外の外国人観光客の誘客による地域創生を支援する。

**⑩ 草の根の国際交流事業の推進 (予算額 2,085 千円)**

協会事業・活動への支援組織である兵庫県国際交流協会友の会会員を中心に、県民が主体となった草の根の国際交流活動を実施し、協会の良き支援者の輪を広げる。

あわせて友の会会員（賛助会費）の募集に取り組むことで、自主財源の確保による自主事業の充実を図る。

- ・主な内容：食文化交流教室、バスツアー、オックスブリッジ英会話教室・セミナー、各種広報誌等の配布 等

27年度：	
第1回食文化交流教室	6月25日実施、60名参加
第2回食文化交流教室	8月31日実施、42名参加
第3回食文化交流教室	11月27日実施、46名参加
オックスブリッジ英会話教室	7月21～24日実施、延べ78名参加
バスツアー	10月17日実施、43名参加

**(2) 知的交流の推進**

**① 国際協力セミナー等の開催 (予算額 761 千円)**

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催する。

27年度：	7月4日実施、40名参加
	3月12日実施、50名参加予定

**② オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施 (予算額 2,200 千円)**

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施する。

- ・時 期：7月中旬～8月中旬
- ・受入数：12名
- ・派遣先団体：10団体

[27年度：7月15日～8月15日実施、延べ229参加]

**③ 国際会議開催への助成 (予算額 20,000 千円)**

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成する。

- ・助成金額：一般枠 200万円以内（総事業費の5%以内）
- 特別枠 500万円以内（総事業費の10%以内）
- 個別枠 エクスカージョン助成（30万円以内）
- 伝統芸能披露助成（10万円以内）

[27年度：15件助成]

**④ 国際会議場の活性化 (予算額 550 千円)**

淡路夢舞台国際会議場の活性化を図るため、国際会議場を会場に各種会議、セミナー、シンポジウム、展示会等を主催又は共催の形式で開催する。

[27年度：こころづくり絵画コンクール 10月18日開催]

**(3) 国際理解の促進**

### (3) 国際理解の促進

#### ① 民間国際交流事業への助成 (予算額 2,166 千円)

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に対し助成する。

- ・助成額：助成対象経費の1/2（上額10万円）
- ・対象：県内で国際交流活動に継続的に取り組むNGO/NPO等の非営利団体が行う国際交流事業  
[27年度：20件助成（予定）]

#### ② 国際交流団体等ネットワークの構築 (予算額 1,099 千円)

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するため、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の活動を支援するとともに、「ひょうご国際交流メールマガジン」を広く配信するなど、情報発信の強化を進める。

〔「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の主な事業〕

##### ア 情報共有・発信

- ・ホームページの運営、メールマガジンの配信等

##### イ ボランティア情報バンクの運営

- ・会員団体に登録しているホストファミリー、多言語ボランティアの情報を共有する情報バンクを設置し、会員団体間でマッチングできるシステムを構築

##### ウ 人材育成や啓発・普及事業等の実施

- ・合同防災訓練等への参画を通じた災害時の外国人支援に関する検討

##### エ 地域別意見交換会の開催

- ・県内6地域において意見交換会及び会員の活動に資する講演会等を開催

#### ③ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト (予算額 500 千円)

「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等と連携して、兵庫県国際交流員（CIR）の企画による国際交流イベントを各地で実施することにより、各地域の団体の活性化、ネットワーク強化を図る。  
[H27年度：事業実施数9件（予定）]

- ・事業主体：「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等との共催事業
- ・実施数：県内各地で10事業を実施予定

#### ④ 地域国際交流団体連携支援事業 (予算額 2,316 千円)

兵庫県における国際交流の充実・発展や多文化共生社会づくりを目指すことを目的とした「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の活動を支援するとともに、地域における団体の枠を超えた多文化共生、国際交流に関する連携活動を促進する。

##### ア 協議会への負担金 72万円

##### イ 助成事業

- ・会員団体：市町国際交流協会 36団体及びH I A
- ・助成対象：①団体間の広域連携事業  
②大学・民間団体等との連携事業
- ・助成額：事業費の1/2（上限15万円、10団体）

#### ⑤ 交流の集い開催事業 (予算額 1,639 千円)

参画と協働を基本に外国の社会や文化を学びながら、外国人コミュニティや国際交流団体、外国人県民等と当協会友の会会員を中心とした県民が交流を図る「交流の集い」を開催する。

- ・時期：3月
- ・参加者：150名程度

⑥ 海外移住と文化の交流センターへの支援 (予算額1,000千円)

平成21年6月に開館した神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業をNPO団体等との協働で実施し同センターの活用を図る。

ア 多文化交流フェスティバルの開催 (年間2事業程度)

〔 27年度：2事業実施

・ブラジル・日本の子どもの絵の交流展 (6月14日～8月31日実施、約850名参加)

・サロン・カーナヴァウ (2月15日実施、約200名参加)

イ 関西ブラジル人コミュニティCBKとの多文化共生事業の開催 [26年度：3月26日開催予定]

⑦ 広報紙 (Come HIA) の発行 (予算額3,523千円)

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し県民の国際感覚の醸成及び国際理解の促進を図る。[27年度：8、12、3月発行、各号4,500部]

⑧ 兵庫県海外移住家族会事業 (予算額210千円)

海外への移住者を援護激励するとともに、本県に在住する留守家族との橋渡しを行うことを目的として、会報及び兵庫県の情報を提供するとともに、海外移住と文化の交流センター内のNPOと連携して会員相互の親睦を図る。

⑨ 兵庫EU協会への支援 (兵庫EU協会で予算計上)

EU (欧州連合) 及びその加盟国と兵庫県との相互理解を深めるとともに、友好を促進している兵庫EU協会の活動を支援する。

⑩ 日本国際連合協会兵庫県本部への支援 (国連協会兵庫県本部で予算計上)

国際連合の活動や国際問題について知り、世界平和や人権についてともに考えるため、日本国際連合協会兵庫県本部の活動を支援する。

### 3 人づくりへの貢献

今年度の目標) 外国人留学生への支援や外国人研修員の受入等、国際社会を担う次代の国内外の人材育成を進める。

#### (1) 外国人留学生の支援

##### ① 私費外国人留学生奨学金の支給 (予算額 72,362 千円)

留学生の生活の安定を図り学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し、奨学金を支給する。また、27年度に引き続き、県下中小企業が今後展開しようとしている東南アジア等における新興国からの留学生を確保するためアジア新興国枠を設定する。

- ・支給額：月額3万円
- ・支給期間：1年間
- ・支給人数：200名（うちアジア新興国枠50名、2年間継続支給） [27年度：延べ195名支給]

##### ② 留学生住宅機関保証推進システムの推進 (貸付額 1,000 千円)

留学生の民間住宅への円滑な入居を進めるため、大学等が賃貸借契約の保証人となる機関保証の実施に当たって必要な資金貸し付けを行う。

- ・貸付先：留学生版安全・安心ネット連絡会
- ・貸付金額：100万円

#### (2) 人材育成

##### ① ひょうご海外研修員の受入 (予算額 10,020 千円)

兵庫県の友好州省をはじめとする諸外国から優秀な青年を研修員として受入れ研修機会を提供することにより、課題解決型の交流を促進する。

- ・受入人数：6名
- ・研修内容：専門分野の研修（県内企業、研究機関等）、日本語研修（兵庫県国際交流協会）ほか [27年度：7名受入]

##### ② セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進 (予算額 海外事務所運営費、ひょうご海外研修員受入で計上)

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、両県民間の相互理解と友好関係を促進する。

[日仏交流コーディネーターの派遣]

- ・時期：平成28年10月～平成29年9月（1年間）
- ・派遣先：セーヌ・エ・マルヌ県内の大学及びセーヌ・エ・マルヌ経済振興公社ほか
- ・派遣人数：1名 [27年度：1名派遣]

##### ③ 外国語指導助手（ALT）を活用した人材の育成 (予算額 兵庫県教育委員会で計上)

外国語指導助手（ALT）を活用して、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、国際的に活躍できるグローバル人材を育成する。

## 《その他事業》

### ① 篠原住宅管理事業

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸し、国際交流施設としての有効活用を図る。

- ・所在地 神戸市灘区篠原本町
- ・敷地面積 2,400 m<sup>2</sup>
- ・建 物 鉄筋コンクリート造2階建 3棟 (1,374 m<sup>2</sup>)

- ② 外国人児童生徒の居場所づくり [再 掲 ( P12 参照 )]
- ③ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援 [再 掲 ( P14 参照 )]
- ④ セーフティネットとしての地域日本語開設事業 [再 掲 ( P14 参照 )]
- ⑤ 外国人県民生活サポート活動の支援 [再 掲 ( P15 参照 )]
- ⑥ 多文化共生のつどい2016(仮)の開催 [再 掲 ( P16 参照 )]
- ⑦ 草の根の国際交流事業の推進 [再 掲 ( P19 参照 )]
- ⑧ 地域国際交流団体連携支援事業 [再 掲 ( P20 参照 )]
- ⑨ 交流の集い開催事業 [再 掲 ( P20 参照 )]
- ⑩ 兵庫県海外移住家族会事業 [再 掲 ( P21 参照 )]